



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2920回例会 2020.12.3 No.1580



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング 君が代 奉仕の理想

ビジター・ゲスト紹介

伊那商工会議所青年部

企画委員会委員長 小池 忍様

米山奨学生 サンギートさん

会長談話 藤澤洋二会長

今日は、伊那商工会議所青年部の企画委員長の、有限会社サンスイの小池忍社長においでいただいています。

伊那商工会議所青年部では、11月29日に、伊那市内の小学生を対象に、地元企業を紹介するイベント「社会見学を ZOOM でイン！」を行いました。子供たちに人気の職業体験イベント「このまちのおしごとごっこ」が新型コロナの影響で実施できなくなり、代わりに、遠隔会議システム Zoom を活用したオンライン社会見学を考えられました。

イベント当日は、青年部は商工会議所ホールに本部を構えて、子供たちは自宅からオンラインで参加して、事前に撮影した青年部会員企業の会社訪問をしたということです。

当日の商工会議所の様子を写真で見せていただきました。モニター画面に映った子供たちの笑顔や、子供たちと話す青年部の皆さんの嬉しそうな笑顔を拝見して、事業は大成功であったことがわかりました。

夏にも、子供たちに夏の思い出を作っておあげようと、「INASHI 盆前 yeah! 伊那市はひとつ、心にひびけ思い出花火 2020」と銘打って、コロナを吹き飛ばせと、伊那市内八か所から花火を打ち上げました。こちらも大好評でした。

コロナ禍の中でも、知恵をしぼり仲間間で力を合わせて、行動している伊那商工会議所青年部の皆さんに敬意を表したいと思います。



今後も青年部といろいろな面で協力して活動していければと考えます。

誕生祝 竹腰哲夫・本郷一博・平出吉範・矢島豪・城取健太・

八木択真

結婚記念日祝

小坂栄一

宮下金俊

在籍祝

三澤清美 (19)

幹事報告

- 12月のロータリーレートは\$1=105円です。
- 地区事務所より、2021-2022年度ロータリークラブ諸資料提出のお願いが参りました。

【12月のプログラム】疾病予防と治療月間

- 3日(木)卓話(伊那商工会議所青年部企画委員会委員長小池忍様)
- 10日(木)クラブフォーラム(疾病予防と治療月間)卓話 神山公秀会員
- 17日(木)IGM報告、年次総会(次期役員・理事発表、中間会計監査報告)

※13:35 顕彰審査委員会 その後、理事会

- 24日(木)25日(金)〜振替
- 25日(金)年末家族会 中止になりました。
- 31日(木)休会(規定による休会)

☆お知らせ

- ・12月10日の例会から、開始時間を12:00に変更します。
- ・2021年1月7日(木)予定の新年例会は中止します。
- ・伊那ロータリー顕彰者を推薦される方は12月14日(月)までに事務局へ提出してください。



委員会報告 12月号「友」の紹介

中山一郎副会長

横組み P7~9 世界のクラブの例会は今 5カ国の新型コロナ対応の例会の状態を紹介。全てオンライン例会が主体。

P10~11 疾病予防と治療月間 厚木県央 RC 松本豊会員が「初めての国際奉仕事業の楽しみ方」を紹介。

P12~21 コロナの影響に関するアンケート結果を紹介。当クラブが先週 IGMで行ったテーマについても他のクラブの工夫や懸案事項について紹介されている。

P22~31 来年6月に開催予定の国際大会の台湾・台北について、歴史から観光まで行きたくなるような紹介。P42. 43 台湾米山学友会理事長が国際大会歓迎、参加を呼び掛け。

P32. 33 侃侃諤諤「文字を読むなら、紙、それともデジタル？」4人の意見が紹介されており、高年齢では「紙」が読みやすいようです。

34. 35 フィリピン・バギオの若者を支援してきたバギオ基金の生い立ちと背景は、是非お読み下さい。太平洋戦争後の日系フィリピン人の悲惨な生活と彼らの子供に救済の手を差し伸べたシスター海野、それを東京のロータリアンが国際奉仕活動として基金を設立。

P47~53連載コミック「ポール・ハリスとロータリー」いよいよクラブを設立、一業種一社、ロータリーという名前が出来る過程、例会は昼食をとりながらになった様子が載っています。

縦組み P4~8「環境中の有害物質の健康に与える影響」アレルギークリニック角田和彦院長の I M 講演要旨。

P9~12「この人訪ねて」熊本県玉名 RC 矢野希実さん脱サラをして酪農業をはじめた会員を紹介。

P16 友愛の広場 東京恵比寿 RC 松島トモ子会員自身が退会してまた復帰した様子を投稿。

出席報告 会員数54名 内出席免除15名 出席者35名 事前メーカーキャップ2名 出席率 80.43%

ニコニコボックス

藤澤洋二・小松献臣 小池忍様本日は卓話を宜しくお願い致します。尚、小池様の入会を会員一同心よりお待ちしております。

赤羽弘之 小池忍様本日は卓話をありがとうございます。



致します。会議所青年部の OB として大変心強く思っております。今後の益々の御活躍を期待しています。

塚越 寛 全米での日本酒コンテストで今錦が金賞を頂きました。

八木沢真 先週の IGM 急な欠席となり申し訳ありませんでした。記者会見をし、大変お騒がせしました。伊那中央病院様にも大変お世話になりました。今後一層の注意を払いながら営業して参ります。

卓話 伊那商工会議所青年部

企画委員委員長 小池 忍 様

演題「花を通じて人のつながりを」

(紹介者 唐木 章情報・プログラム副委員長)

伊那弥生ヶ丘高校卒、日本フラワーカレッジ卒、学生時代はバレー

ボール、剣道、水泳をしておかなりのスポーツマン。趣味は犬の散歩と釣り。家族とスタッフが宝もの。

有限会社サンスイの小池と申します。人前で話をすることが本当に苦手で、花と向き合っていると安心できるので、今日は花を作りながらお話をさせていただきます。私は 27 歳の時に家業に入りました。そのときは古いスタッフとぶつかり合うなど、会社を上手く回すことができず、3 年くらいは会社をやりたくないという時期がありました。その頃商工会議所青年部に入ったのですが、会社をちゃんとやっている若者たちが、お金にもならないことをどうしてこんなに一生懸命、楽しくできるのか不思議でした。自分は商売につながるからと入ったのですが、そういう方たちの姿を見て、何か感じるものはありました。

やがて、なんとか会社をうまく回すために、自分の中で何かを変えなければいけないと思い、あることを試してみることにしました。それはスタッフを一切怒らないということ。それまでは、お客様にとって心地のいい花屋を目指す、父親が銀行員だったので数字を大事にする、そうしたことが絶えず頭にありスタッフにはきつく言うこともありました。それを一切怒らないようにして、今でもそうしています。

変化はすぐに出たわけではないのですが、やがて会社がうまく回りはじめて、仕事も自然とただけるようになってきました。女性の多い会社で



すので、怒らないことプラス何かしら見つけて褒めてあげることを心掛けました。まずスタッフが心地のいい職場を目指せば、結局はお客さんも心地が良くなるということが形になってくれて、会社に行くことが楽しくなりました。今は仕事をしている時間が一番楽しくて、スタッフに対しても家族のように接しています。スタッフも意識が変わってきてくれて、今は会社を楽しんでくれています。やはり会社は人で変わると実感しました。

私が委員長を務める伊那商工会議所青年部企画委員会は、コロナの影響でやりたいことができないでいました。青年部の良さは、皆で集まってワークと盛り立てて地域を活性化するということがあったのですが、それが一切できなくなりました。今年の4月から5月、日本中がコロナの自粛モードになったときに、「花火を上げよう」という話が僕らの委員会でも出ました。今でこそ、花火を上げて日本を元気づけようという企画は各地であるのですが、あの頃は日本中が静まり返っていて、何か場違いなことをして「空気も読めないのか」と言われかねない空気で、委員長としても悩みました。

そんな中「それをやるのが青年部でしょう」という意見がありました。いつもは、何かギリギリのことをやろうすると「何かあったら委員長の僕が責任をとるからやろう」と言うのですが、今回は委員の方から「委員長、やりたければやりなさい。みんなで責任を取るから。みんなでやろうぜ！」という話になりまして。今年は長雨で天気が心配だったのですが、打ち上げ当日の8月1日に梅雨明け宣言して、花火を上げさせていただきました。

お金も、伊那市の花火大会が中止になっている中で、普通に協賛を求めても理解が得られないので、青年部の心意気として、青年部の中で集められるだけ集めようということにしました。結局、協賛とクラウドファンディングも併せて、目標60万円のところ300万円が集まりました。クラウドファンディングも未知数で、不安だったのですが、いろんな地域の方が「子供向けに花火を上げる」ことに賛同していただき、打ち上げ場所も当初2か所の予定が、8か所から打ち上げることができました。当日はこれといった苦情もなく、市役所や商工会議所に「よくやってくれた。」という褒めの電話をいただきました。

11月29日には「社会見学を ZOOM de イン!!」という、企画をさせていただきました。今年にはなるべく安心・安全で子供たちの記憶に残り喜んでもらえる行事を、ということで僕らの委員会は動いているのですが、今回はいろんな意味でチャレンジの例会となりました。小学生対象で ZOOM を使ってリモートで社会見学をするということが青年部としては初めて、もちろん ZOOM での例会自体も初めてで、すべてが手探りで委員にも大分苦労させました。結果、子供たちは思いのほか喜んでくれました。

花がこんな感じになってきました。これは庭にある菊ですが、バラとも十分に合います。和と洋と合わせても花は十分きれいに見えます。人間も一緒に青年部でもロータリーでもいろんな方がいらっしやいますが、結局目標は一つだと思います。青年部だと地域を活性化して、今年は子供を喜ばせようという一つの目標を見据えてやればうまくいくということをすごく実感しました。

私は、子供と「お花を楽しむ会」というのをやっております。子供のところにお花を持って行って、いっしょにアレンジメントなどの作品を作ります。依頼があれば無料で行きますが、子供たちが男の子も女の子もお花に触って本当に笑顔になるんですね。お花に触って本当にみんな幸せになると感じてこの商売を続けています。

